

**令和4年度進行管理・評価シート**  
**萩市歴史的風致維持向上計画（第2期）（平成31年3月26日認定）**

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)	
1 計画の実施体制の一元化 市民団体との協働 .....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 歴史的町並みと調和した良好な景観の形成 .....	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 萩時代まつり支援事業 .....	3
2 萩夏まつり支援事業 .....	4
3 萩の和船大競漕「おしくらごう」支援事業 .....	5
4 浜崎伝建おたから博物館支援事業 .....	6
5 ワンコイントラスト(百円信託)運動 .....	7
6 萩検定・子どもものしり博士検定支援事業 .....	8
7 萩・万灯会 .....	9
8 萩・大茶会支援事業 .....	10
9 萩ものがたり出版支援事業 .....	11
10 萩焼まつり支援事業 .....	12
11 語り部活用事業 .....	13
12 萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業 .....	14
13 地域コミュニティ組織づくり事業 .....	15
14 萩・夏みかんまつり支援事業 .....	16
15 萩反射炉保存修理事業 .....	17
16 恵美須ヶ鼻造船所跡保存整備事業 .....	18
17 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業 .....	19
18 萩城跡保存修理事業 .....	20
19 文化財保護修理事業 .....	21
20 弘法寺堀内線他無電柱化事業 .....	22
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存・修理等に関する事項 .....	23
2 文化財の普及・啓発等に関する事項 .....	24
3 文化財施設等の活用に関する事項 .....	25
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	26
⑥その他(効果等)(様式1-6)	28
<b>□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)</b>	29

評価軸①-1  
組織体制

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
計画の実施体制の一元化 市民団体との協働	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 計画に定める事業等の実施及び計画変更については、市政全般の調整を行う総合政策部との連携のもと、商工観光部が中心となって行い、「NPO萩まちじゅう博物館」、「浜崎しっちょる会」、「NPO萩観光ガイド協会」などの民間団体等との協働により計画を推進していく。

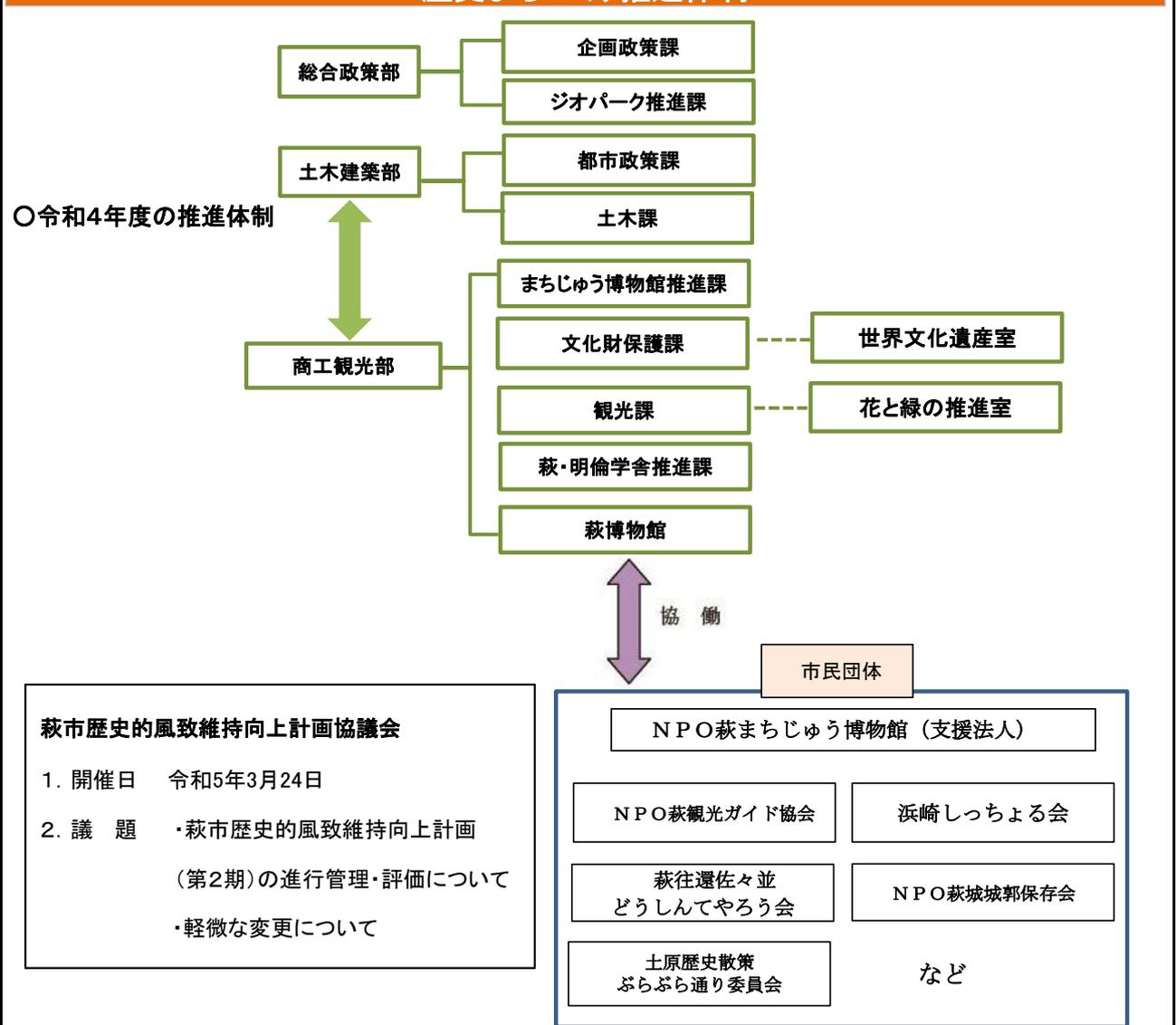
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
 行政の組織体制においては、令和3年度に観光政策部を改め、商工観光部を設置するなど、萩の歴史的風致を活かしたまちづくりを商工及び観光行政と連携して総合的に進める体制を強化している。民間団体の取り組みについては、「萩まちじゅう博物館構想」を推進する中核的団体であり、萩市歴史的風致維持向上支援法人である「NPO萩まちじゅう博物館」や重要伝統的建造物群保存地区の保存活用に取り組む「浜崎しっちょる会」、「萩往還佐々並どうしてやろう会」、市内の文化財施設の管理やガイドを行っている「NPO萩観光ガイド協会」などが、それぞれの資源を活かしたまちづくりに取り組んでおり、これらの団体との協働により計画を推進している。

NPO萩まちじゅう博物館会員数 189人、NPO萩観光ガイド協会会員数 98人  
 浜崎しっちょる会会員数 63人、萩往還佐々並どうしてやろう会会員数126人  
 (令和5年2月末現在)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	計画変更、進行管理及び評価については、まちじゅう博物館推進課、事業実施については各事業担当課が行っているが、適正な計画の推進と事業実施を図るため、定期的な庁内担当者会議等の開催を検討する。

状況を示す写真や資料等

歴史まちづくり推進体制



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度
	令和4年度
歴史的町並みと調和した良好な景観の形成	現在の状況
	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 地区や地域を定めて指定している文化財の周辺部の環境を保全するために、新築等に際しては、都市計画法及び建築基準法に基づく萩市の都市計画用途地域と景観法に基づく景観計画の重点景観計画区域の設定により規制誘導を行い良好な景観を確保するとともに、地区や地域の指定拡大や追加に努める。歴史的価値が特に高い建造物の周辺には緩衝地帯を設け、周辺環境の保全に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

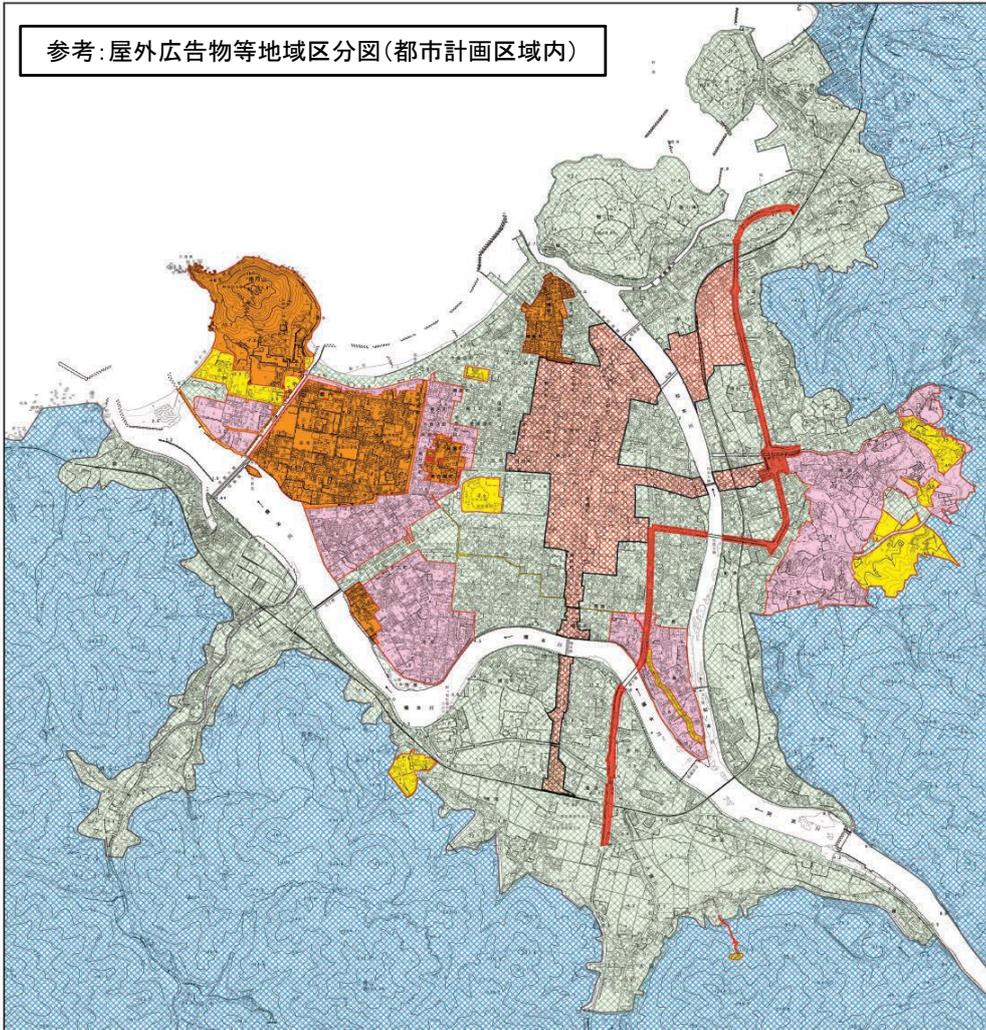
重点区域は、歴史的風致を色濃く残す萩市の中心市街地と重なる。現在、都市計画法に基づき、地域の歴史的特性に合った土地利用が図られるよう適切な用途地域の指定を行っている。また、景観法に基づき平成19年12月に運用を始めた萩市景観計画では、重点的に景観の形成及び保全を図る地域である重点景観計画区域の多くを重点区域内において指定し、地域の特性に応じて詳細な景観形成基準を定め、建築物の高さを制限するほか、良好な景観形成のための指導等を行っている。さらに、萩市屋外広告物等に関する条例では、重点景観計画区域については自家用広告物以外の広告物の掲出を原則禁止する禁止地域に指定するなど強い制限をかけ、屋外広告物掲出の誘導を行っている。このような施策を住民の理解を得ながら行っており、歴史的風致の維持及び向上に努めている。

○令和4年度 萩市景観計画区域内行為届受理件数 68件(令和5年2月末現在)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	景観計画や屋外広告物等に関する条例による規制の理解を得ることに苦慮することがあるが、萩市の景観に対する取り組みを十分に説明し理解していただいたうえで、基準に適合させた建築物・工作物等の新築等を行っていただくこととしている。

状況を示す写真や資料等

参考:屋外広告物等地域区分図(都市計画区域内)



禁止地域		許可地域	
	第1種禁止地域		第1種許可地域
	第2種禁止地域		第2種許可地域
	第3種禁止地域		第3種許可地域
	第4種禁止地域		

※第3種許可地域は都市計画区域外を含む

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
萩時代まつり支援事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成7年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩時代まつりは、藩政時代を起源とする天神祭を核に行われる。毛利の伝統を受け継ぐ2つの奉納行列のほか、町内会による唐樋御神幣、川島聖講などが、萩市内を練り歩き、金谷神社に奉納される。舞台となる萩の町並みがまつりを盛り上げることで、萩市の歴史的風致の維持向上につながる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	令和4年11月13日(日)8時～16時		
入込数	2,500人		
コロナ禍により、3年ぶりの開催となった。今年の奉納行列は「平安古備組」のみの参加となった。大名行列は例年通り金谷神社への奉納を行った。			

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	コロナウイルス感染拡大防止策、担い手の確保が課題であり、外部人材などの活用も検討していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



「草履舞」の様子



平安古備組「手廻り備え行列」



川島聖講

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
萩夏まつり支援事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	昭和38年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	藩政時代から続く、萩市浜崎伝統的建造物群保存地区に位置する住吉神社の祭りに併せて行う。祭りの核となるのが、萩藩の御座船唄であり、山口県無形民俗文化財に指定されている「お船謡」の奉納や「住吉神輿」の奉納である。藩政時代から今に継承される伝統行事を次世代に受け継ぐことにより、萩市の歴史的風致の維持向上に繋がる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日	令和4年8月1日(月)～3日(水)		
開催場所	萩市内各所		
◆萩夏まつり主なスケジュール ○8月1日(月)「花火大会」規模を縮小し、会場を分散して開催 ○8月2日(火)「市民総踊り(ヨイシヨコシヨ、トコトヤレ節)」中止 ○8月3日(水)「お船謡、住吉御輿」			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	コロナウイルス感染拡大防止策、担い手の確保が課題であり、外部人材などの活用も検討していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			

「お船謡」の様子



「住吉神輿」の様子



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
萩の和船大競漕「おしくらごう」支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成16年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 藩政時代より受け継がれる「おしくらごう」と呼ばれる和船競漕は、玉江浦地区厳島神社の例祭に合わせて行われる。伝統文化を継承していくことにより、歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日時 令和4年6月5日(日)8時30分～13時

開催場所 萩市橋本川下流

入込数 1,000人

コロナ禍により、3年ぶりの開催となった。「おしくらごう」は、以前は、海上で行われていたが、近年は橋本川下流に場所をかえ、多くの市民や観光客が観覧できるようになった。ねじりはちまき・下帯姿の若者たちが和船に乗り込み、掛け声をあわせて櫂を漕ぎ、銀色の波しぶきをあげ、往時を偲ばせる白熱したレースを繰り広げた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	コロナウイルス感染拡大防止策、担い手の確保が課題であり、外部人材などの活用も検討していく必要がある。
--	--

状況を示す写真や資料等

「おしくらごう」の様子



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
浜崎伝建おたから博物館支援事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成10年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	江戸時代並びに明治、大正及び昭和初期の伝統的建造物が約130棟残る萩市浜崎重要伝統的建造物群保存地区を舞台に、家々に伝わる「おたから」を歴史的な建物内で展示・公開するとともに、萩の特産品販売なども行う。本事業を通じて歴史景観に対する意識の高揚を図ることにより、萩市の歴史的風致の維持向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	令和4年5月22日(日)9時～15時		
開催場所	萩市浜崎重要伝統的建造物群保存地区 入込数 10,000人		
浜崎地区のおたからを広く情報発信するため、地元の「浜崎しっちゃん会」を中心に各種催事が行われている。今回は家々に伝わるおたからの展示、伝建地区スタンプラリー、国指定史跡旧萩藩御船倉での鼓演奏、古民家内での山口大学マンドリンクラブによる演奏等が行われた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	コロナウイルス感染拡大防止策、おたからの保存・活用が課題であり、イベント時のみならず、常時おたからを活用できる仕組みが必要。		

状況を示す写真や資料等

「浜崎伝建おたから博物館」の様子



会場の様子



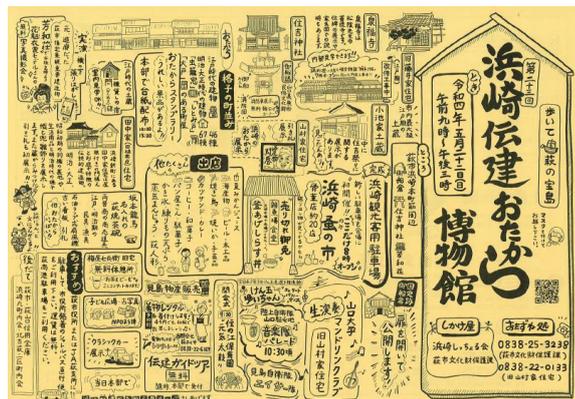
伝建地区スタンプラリー



見島エイサー隊による演舞



山口大学マンドリンクラブ演奏



評価軸③-5  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
ワンコイントラスト(百円信託)運動			現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成17年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩に残る未指定の文化遺産を保存、活用、継承するため、市内の文化財施設などにトラストボックス(寄付金箱)を設置し、ワンコイン(100円)のトラスト(信託)を求める。財政支援を得にくい未指定の文化遺産の保存を図ることにより、萩市の歴史的風致の維持向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
トラストボックス設置箇所 12箇所 ①道の駅「萩しーまーと」 ②萩博物館 ③道の駅萩往還内「松隆記念館」 ④旧山村家住宅 ⑤渡辺蒿蔵旧宅 ⑥有備館 ⑦玉木文之進旧宅 ⑧萩・明倫学舎 ⑨旧小林家住宅(萩往還おもてなし茶屋) ⑩「道の駅」ゆとりパークたまがわ⑪いかマルシェ ⑫つわぶきの館 トラスト金額 累計32,176,645円 (令和5年2月28日現在)			
本年度の信託金は、次年度以降の助成事業の実施に向け積み立てることとした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後、民間施設等へ募金箱設置の検討を行う。		

状況を示す写真や資料等

今までに修復などを行った萩の宝物

第1号 井上勝旧宅門



名 称：井上勝(敬通の父)旧宅門  
物件の公開：萩市土庫 208-1  
修復年月：平成18年4月

第2号 猿田彦面山車



名 称：猿田彦面山車  
物件の公開：住吉神社のお祭り  
で一般公開  
修復年月：平成18年10月

第3号 平安古備組道具類



名 称：平安古備組道具類  
※文字簿や奉書付録など10点  
物件の公開：萩時代まつりや萩博物館で  
一般公開  
修復年月：平成19年7月

第4号 御網代車



名 称：御網代車  
物件の公開：毎年11月に行われる金谷天満宮祭礼の御神幸  
神事で一般公開  
修復年月：平成20年10月

第5号 長州砲



名 称：長州砲(萩野法一頁百貫銅砲)  
物件の公開：萩博物館で期間限定公開  
展 覧 期：平成20年8月から平成21年5月末日まで

第6号 伊藤博文公先祖の墓碑



名 称：伊藤博文公先祖の墓碑  
物件の公開：報恩寺境内にて常時公開  
修復年月：平成21年9月

第10号 井上勝志気像

銅像建立

名 称：井上勝志気像  
物件の公開：萩駅前にて  
常時公開  
建立年月：平成28年10月



第7号 高杉晋作立志像



名 称：高杉晋作立志像  
物件の公開：安藝萩城下町  
にて常時公開  
建立年月：平成22年10月

第8号 奇兵隊隊服



名 称：奇兵隊隊服  
物件の公開：萩時代まつりや  
萩博物館で一般公開  
完成披露：平成25年6月

第9号 久坂玄瑞進撃像



名 称：久坂玄瑞進撃像  
物件の公開：萩市中央公園  
にて常時公開  
建立年月：平成27年1月

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
萩検定・子どもものしり博士検定支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成17年度～ ※「萩検定」は旧「萩ものしり博士検定」をリニューアルし、令和元年度から開始

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩検定では、萩の歴史、文化、自然にまつわるストーリーをクイズ形式で学ぶことのできるテキストを題材に試験を実施している。市民や観光客の参加により、萩市の歴史的風致を広く発信している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日時 ①萩検定  
 ・初級 開催期間: 通年  
 内容: 自然・文化・歴史・幕末維新の4科目で実施。自宅等でパソコン等を利用してインターネットで受検可。テキストより各科目50問出題 択一式 45問以上正解で合格  
 ・中上級 開催日: 令和4年12月4日(日)  
 内容: 自然・文化・歴史・幕末維新の4科目で実施。  
 テキストより各科目50問出題 択一式・記述式 45問以上正解で合格  
 開催場所: 萩市総合福祉センター  
 萩検定は平成17年度より実施している旧「萩ものしり博士検定」をリニューアルし、初級は自宅等でパソコン等を利用してインターネットで受検を可能とした。平成20年度から開催している「子どもものしり博士検定」については、平成24年度から市内の小学生は、各学校で受検する方式に変更している。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 受検をきっかけとした、まちじゅう博物館活動の活性化や交流人口の拡大が課題。

状況を示す写真や資料等

■旧萩ものしり博士検定、萩検定 受検者・合格者

旧萩ものしり博士検定修士課程・萩検定初級				
年度	申込者数	受検者数	合格者数	合格率
H28	68人	62人	56人	90.3%
H29	48人	42人	35人	83.3%
H30	54人	46人	41人	89.1%
R元	863人	863人	618人	71.6%
R2	469人	469人	209人	44.6%
R3	643人	643人	246人	38.3%
R4	430人	430人	171人	39.8%

旧萩ものしり博士検定博士課程・萩検定中級				
年度	申込者数	受検者数	合格者数	合格率
H28	32人	29人	9人	31.0%
H29	27人	24人	8人	33.3%
H30	37人	33人	6人	18.2%
R元	183人	169人	140人	82.8%
R2	86人	77人	47人	61.0%
R3	67人	61人	43人	70.5%
R4	51人	48人	35人	72.9%

萩検定上級				
年度	申込者数	受検者数	合格者数	合格率
R2	83人	80人	30人	37.5%
R3	54人	48人	16人	33.3%
R4	55人	51人	10人	19.6%

子どもものしり博士 (市内各小学校で受検)	
H28	404人
H29	368人
H30	355人
R元	361人
R2	コロナのため中止
R3	549人
R4	278人



子どもものしり博士検定用テキスト(改訂版)「萩ものしりブック」

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
萩・万灯会	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	昭和42年度～
支援事業名	萩市単独事業

計画に記載している内容 萩・万灯会は、萩藩主毛利家の菩提寺である大照院と東光寺(いずれも重要文化財)で開催される。萩藩主とその一族を弔うための伝統行事であり、本事業の開催によって萩市の歴史的風致を広く発信している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大照院の迎え火は、コロナ禍により、3年ぶりの開催となった。

◆大照院<迎え火>

開催日時 令和4年8月13日(土) 19時30分～21時30分  
 入込数 3,700人

◆東光寺<送り火>

開催日時 令和4年8月15日(月) 19時30分～22時  
 入込数 1,000人

毛利氏の菩提を弔うため、石燈籠(大照院、約600基、東光寺、約500基)に入れられたろうそくの火が、幻想的な世界を作り出した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	コロナウイルス感染拡大防止策、施設の維持・管理が課題。新たな活用方法等により維持・管理方法の検討が必要。

状況を示す写真や資料等

「大照院」万灯会の様子



「東光寺」万灯会の様子



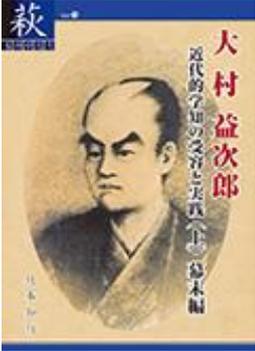
評価軸③-8 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
<b>萩・大茶会支援事業</b>			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成9年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩焼とともに歴史ある萩の茶の湯文化を紹介するイベント。史跡萩城跡を中心として開催する。萩市の歴史的風致を活用し、萩市の歴史と文化を広く発信している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度は、コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小して行った。			
開催日時	令和4年5月3日(火・祝)10時～15時／献茶式9時30分～		
入込数	204人		
	(薄茶席)		
	遠州流萩支部【萩城跡指月公園内 花江茶亭】		
	(生け花展)		
	池坊萩支部【萩城跡指月公園内 梨羽家茶室、旧厚狭毛利家萩屋敷長屋】		
	(琴、尺八の演奏)		
	箏好会・孔友会【萩城跡指月公園内】		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	コロナウイルス感染拡大防止策、担い手の確保が課題であり、外部人材などの活用も検討していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			

「萩・大茶会」の様子



【イベントチラシ】

評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
萩ものがたり出版支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成16年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩にまつわる歴史、自然、民俗、芸術などの萩の物語(ストーリー)を、読み易いブックレット形式のシリーズとして出版、定期的に刊行する(年間4冊程度発行)。貴重な萩の情報を書籍出版することにより、萩市の歴史的風致を広く発信している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年4月発行 ・萩ものがたり73号「萩の歴史的町並み 下巻 城下町と市町」 ・萩ものがたり74号「大村益次郎 近代的学知の受容と実践(上)幕末編」 令和4年10月発行 ・萩ものがたり75号「大村益次郎 近代的学知の受容と実践(下)維新編」 ・萩ものがたり76号「渋沢栄一と萩一つながる松陰、木戸、伊藤、井上そして論語」 平成16年度からの累計発行数76巻			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	購読者増のため、インターネット通販などによる対応の検討が必要。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  </div> <div style="width: 50%;">  </div> <div style="width: 50%;">  </div> <div style="width: 50%;">  </div> </div>			

評価軸③-10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
萩焼まつり支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成3年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	本事業は、日本を代表する工芸品である萩焼を広く紹介するため、市内の窯元や販売店が一堂に集結して行う即売会である。萩焼作家の直接指導によるろくろ体験や特産品の販売も行う。本事業の開催で、萩焼が広く知られることになり、萩市の歴史的風致の情報発信を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度の萩焼まつりは、「萩のまち全体が会場の実店舗めぐり」と「オンライン販売」の2本立てで開催された。 ※例年の会場である萩市民体育館での開催は、コロナウイルス感染リスク等を鑑みて中止となった。			
<b>内容</b> ・実店舗販売 5月1日(日)～5日(木・祝) 協賛店39店舗 ・萩市民館小ホール 5月1日(日)～4日(水・祝) 出店者8店舗 9時～18時(最終日は16時) ・オンライン販売 5月1日(日)～31日(火)  ・5月1日(日)～5日(木・祝)まで萩・明倫学舎内観光インフォメーションセンターに「萩焼まつりコンシェルジュ」を配置し会場の案内を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	萩の春のイベントとして定着しており、リピーターも見られるが、入客数や客単価向上に繋げるため新しい企画等を考案する必要がある。コロナウイルス感染拡大防止策。		
状況を示す写真や資料等			
<p>「萩焼まつり」会場の様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>実店舗販売</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>実店舗 &amp; オンライン販売！ 萩焼まつり</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>萩市民館会場</p> </div>			

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
語り部活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩市の歴史的風致を構成する豊かな歴史、文化、自然等につつまれる物語(ストーリー)を「語り部」が文化財施設などで観光客等に語るにより、萩市の歴史や文化を広く全国発信する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<b>【萩の語り部歴史講座①】</b> 開催日時 令和5年3月19日(日) 開催場所 渡辺蒿蔵旧宅 語り部 山根和人「松陰の墓を建立した門下生17名のその後の生き様」 繁澤征夫「吉田松陰の母、滝さんと中津江の里」 末永光正「御殿山英国公使館 焼き討ち事件」  <b>【萩の語り部歴史講座②】</b> 開催日時 令和5年3月26日(日) 開催場所 平安古かいまがり交流館 語り部 清水洋介「幕末維新～長州藩・本願寺・新撰組の微妙な関係～」 中野悦子「おもしろ筋名で萩まちあるき『平安古よしん橋の悲劇』」 末永光正「LOVE LETTER from 玄瑞 to 文」			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	コロナウイルス感染拡大防止策。体験観光のメニューの一つとして、観光客へのPRも必要。		

状況を示す写真や資料等

○萩の語り部歴史講座の様子



○萩の語り部歴史講座チラシ



評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間 平成25年度～			
支援事業名 文化遺産総合活用推進事業			
計画に記載している内容	萩のまちのおたから(文化遺産)を守り育てながら、誇りをもって次世代に伝えていこうというまちづくりの取り組みである「萩まちじゅう博物館」を一層推進するため、まちじゅうに広がるおたから(文化遺産)の情報発信・普及啓発・活用促進を行う萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業に市民と協働で取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
実施期間: 令和4年5月から令和5年3月 事業実施箇所: 萩市内全域 事業主体: 萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業実行委員会 事業内容 【事業1】地域の文化遺産情報発信事業 当初目標に対する総括評価を行った。 「おたからカルテ」「萩のおたからデータベース」「おたからウェブサイト」の公開を継続した。 地域ごとにおたからの紹介やまち歩き補助資料となる「地域おたからマップ」を一部増刷、配布を継続した。 【事業2】地域の文化遺産普及啓発事業 当初目標に対する総括評価を行った。 文化遺産の継続的なモニタリングのため、「明木地域おたから見守りツアー」を実施した。 【事業3】地域の文化遺産活用促進事業 当初目標に対する総括評価を行った。 文化遺産の活用を促進するため、まち歩きや体験プログラムの情報を来訪者にまとめて情報提供するためのしゅみの検討・試行を継続した。 関係者の対話の場を設け、協働でおたからを活用するしゅみについて話し合いをスタートさせた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		地域のおたから(文化遺産)をその地域に住む住人に再認識してもらい、活用していただくことの必要性を理解してもらう努力が必要。	
状況を示す写真や資料等			
○調査による地域おたからマップの作成			
【平成25年度】 旧松本村地区、明木地区、佐々並地区、むつみ地	【平成26年度】 堀内・平安古・城下町地区、土原地区、川上地域、福栄地域	【平成27年度】 川島・藍場川地区、笠山・越ヶ浜地区、須佐地域、田万川地域	
【平成28年度】 椿地区、大島地区、大井地区、三見地区	【平成29年度】 江向地区、相島地区、浜崎地区	【平成30年度】 見島地区、玉江地区、山田・木間地区	【令和元年度】 田町地区
【令和2年度】 寺町地区	【令和3年度】 鶴江・香川津・新川地区		

評価軸③-13 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
地域コミュニティ組織づくり事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成19年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	過疎高齢化の進展に伴い、広域的に自治機能を補完し合い、コミュニティの維持及び振興を図る仕組みづくりとして、学校区等を単位とした地域コミュニティ組織づくりを推進し、地域コミュニティの強化を図る。このことにより、各地域に古くから伝わる伝統芸能や伝統行事の継承、自然景観や歴史的景観の保全等が期待でき、もって歴史的風致の維持及び向上を図ることができる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
過疎化や少子高齢化により、地域の祭礼や草刈等の集落活動が徐々に困難となっている中で、地域の特色を活かした地域づくりを推進するため、「魅力ある地域づくり交付金制度」を創設し、集落や既存の団体の垣根を越えて地域全体で補い合うことができる新たな地域コミュニティづくりを推進している。			
令和4年度交付実績 ・交付地域 6地域(川上、田万川、むつみ、須佐、旭、福栄地域) ・交付金額 28,939千円			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	コロナ禍の中、創意工夫を凝らして地域コミュニティ活動を実施している。		
状況を示す写真や資料等			
○魅力ある地域づくり交付金の活用例			
		<b>【須佐地域】</b> 須佐地域伝統文化継承事業 ・古地図でまち歩き ・須佐歴史民俗資料館(みこと館)の展示 ・上三原の田植えばやしの伝承 ・子ども神楽の披露	
上三原の田植えばやしの伝承 (地元の祭りで披露)			
明木地区文化祭(小学生による彦六又十郎伝の劇披露)		<b>【旭地域】</b> 明木地区文化祭 ・明木地区の住民による文化発表等を開催 ささなみの秋祭り ・伝建ガイドクイズラリー等 佐々並どうしんてやろう会 ・伝統文化行事の継承 彦六・又十郎伝保存会 ・彦六又十郎伝の伝承活動	

評価軸③-14  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
萩・夏みかんまつり支援事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～10年度		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	土堀越しにのぞく夏みかんは、萩を代表する景観の一つ。本事業を通じ萩の伝統的建造物が多く残る景観と夏みかんの深い関係を広く情報発信することにより、夏みかんに関わる歴史的風致の維持及び向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	令和4年5月14日(土)・15日(日) 10時～16時		
入込数	5,590人		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オープニングセレモニー</li> <li>●夏みかん製品等の販売</li> <li>●夏みかん収穫体験</li> <li>●夏みかんクイズラリー&amp;ガラポン抽選会</li> <li>●萩八景遊覧船 無料乗船体験 など</li> </ul>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	萩を代表する、特産品である夏みかん及び夏みかんに関わる独自の風景などのPRとして、効果的なイベントとなっている。コロナウイルス感染拡大防止策やスムーズな会場への誘導対策が課題。		

状況を示す写真や資料等

「萩・夏みかんまつり」会場内の様子



イベントチラシ

2022年  
5月14日(土)・15日(日)  
10:00～16:00  
かんぎつ公園・旧田中別邸  
萩市平安古前164

夏みかん収穫体験 (参加料1人1,000円) ※10:00～15:00  
事前申し込み不要 ※雨天中止の場合、お断り下さい  
※当日は先着順です。

夏みかん・夏みかん製品販売

郷土芸能披露  
●14日(土) 11:00～  
萩民謡「男な5」など(予定)  
●15日(日) 11:00～/13:00～  
大振山たたら太鼓

抹茶席 (先着300名限定)

夏みかんクイズラリー&ガラポン抽選会  
●10:00～16:00  
会場内に設置されたクイズラリーに挑戦し全問正解するとガラポン抽選会に参加できます。夏みかんグッズなどが当たります。

萩八景遊覧船 無料乗船体験  
●10:00～15:00  
(9分間隔) ※雨天中止の場合、お断り下さい。  
かんぎつ公園近くの遊覧船乗場の先着で、乗船券一枚(当日発行)と乗客1名につき乗船券約10分程度の体験コースを無料で提供します。  
※雨天中止、団体予約は別途お問い合わせください。

新型コロナウイルス感染対策にご協力ください。  
ご来場の際は、  
①マスクの着用  
②手洗いや手指消毒  
③密集・密着・密接を避け  
④体調不良の方は来場を控えてください。  
⑤会場内ではマスクの着用をお願いします。  
⑥会場内ではマスクの着用をお願いします。  
⑦会場内ではマスクの着用をお願いします。

萩・花でよみ実行委員会(萩市観光課内) TEL 0838-25-3139(平日のみ)  
萩市観光協会公式WEBサイト https://www.hagishi.com/

評価軸③-15  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
萩反射炉保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成22年度～令和9年度
支援事業名	萩市単独事業

計画に記載している内容  
萩反射炉は前回の保存修理工事から35年が経過し、煙突本体煉瓦部の劣化が著しい状態であるため、当該箇所の保存修理を行い歴史的景観の保全を図ることにより、明治維新に関わる歴史的風致の維持及び向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
萩反射炉の劣化が進行した塔体煉瓦部及び煉瓦目地の補修方法について、建築学・工学が専門の整備委員への事前ヒアリング及び整備委員会を開催し、各委員からの指導・助言を受けながら、令和2年度に合意を得た煉瓦部補修の基本方針に基づき、煉瓦部の補修目地の材料試験及び組成体試験を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応  
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

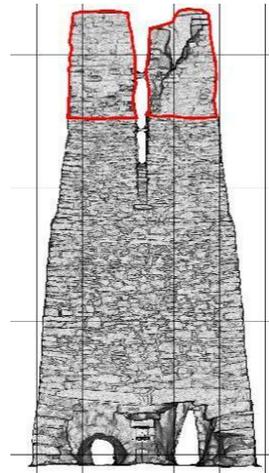
■計画どおり進捗している  
□計画どおり進捗していない

在来の技術を結集して築造された萩反射炉に使用した煉瓦は、全国的に見ても類例に乏しく、専門家の中でも補修方法が確立されていない。萩反射炉整備委員会の各委員、内閣官房及び文化庁等と協議を重ねながら、合意形成を図っているため、保存修理方法の決定に時間を要している。補修煉瓦・補修目地については、当初材の強度・吸水性を重視し、可逆性のある補修方法に留意しながら保存修理に向けた準備を進めている。

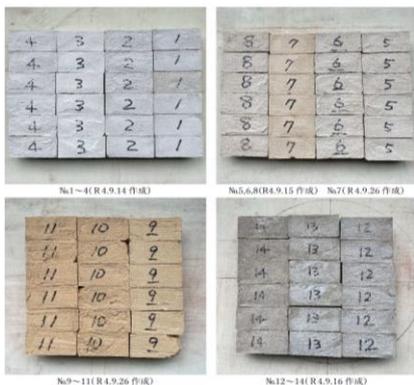
状況を示す写真や資料等



【萩反射炉 現況写真】

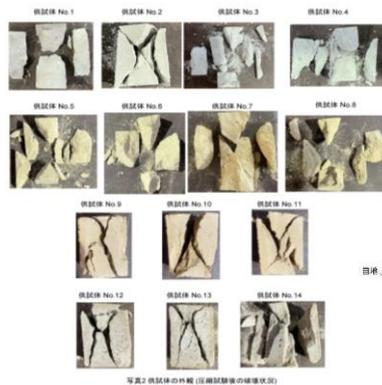


【萩反射炉 立面図】

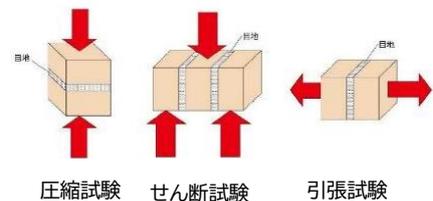


砂・粘土・石灰・セメント配合別による試験体の製作

【萩反射炉 煉瓦目地材料試験】



試験体の強度試験



【萩反射炉 煉瓦組成体試験】

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	

恵美須ヶ鼻造船所跡保存整備事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成27年度～令和12年度

支援事業名 市内遺跡発掘調査等事業

計画に記載している内容 恵美須ヶ鼻造船所跡は、幕末に萩藩が洋式軍艦を建造した遺跡である。この遺跡の調査研究・保存整備を行うことで、その歴史的価値が向上し、多くの人々に情報発信することにより、明治維新に関わる歴史的風致の維持及び向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

確認調査

期間: 令和4年12月20日～令和5年3月下旬

調査箇所・面積: トレンチ1(15㎡)、トレンチ2(15㎡)、トレンチ3(45㎡)、合計75㎡

調査内容: トレンチ1 造船場進水口の南側掘方と護岸石垣の確認、トレンチ2 造船場の底面の確認

トレンチ3 造船場の船首側の範囲確認

現地見学会: 3月4日(土) 30名参加

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

令和元年度から令和3年度確認調査により、I地区からIII地区すべての基本層序と、昭和期と江戸期、江戸以前の海岸線の変遷を確認することができた。令和4年度は庚申丸造船場の規模を確定するための確認調査を実施した。

状況を示す写真や資料等



令和4年度 史跡恵美須ヶ鼻造船所跡 発掘調査実施箇所図

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和10年度		
支援事業名	伝統的建造物群基盤強化事業、空き家対策総合支援事業費補助金、萩市単独事業		
計画に記載している内容	国選定重要伝統的建造物群保存地区における伝統的建造物や歴史的景観との保全が図られ、祭礼等城下の町内(まちうち)における歴史的風致の維持及び向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・国選定重要伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物等の修理7件 民間が所有する土塀、石垣及び主屋等の保存修理、修景を実施 ・堀内鍵曲り土塀東側石垣保存修理工事及び生垣植栽等 堀内鍵曲り土塀を整備し、周辺の文化財施設と連携し、価値と魅力を向上 ・浜崎伝建地区町家モデル保存整備工事 萩市が抱える空き家問題・まちなみの保存・移住定住等の課題を解決し、今後の伝建地区におけるまちなみの保存と活用に向けたモデル事業として、保存整備工事を実施			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	緊急度等を勘案し計画的に保存修理工事を実施し、歴史的まちなみを保存する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			

伝統的建造物(石垣)の保存修理工事 (堀内伝建地区)



修理前



修理後

浜崎伝建地区町家モデル保存整備工事



修理前



完成

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
萩城跡保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～令和10年度		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	史跡萩城跡を構成している重要な石垣の保存修理、城内の整備を行うことにより、花江茶亭などの伝統的建造物との歴史的景観の向上に繋がり、茶道にみる歴史的風致の維持及び向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
明治15年以降、神社社務所として移築使用されてきた旧福原家書院(市指定有形文化財)が経年劣化による老朽化が進行し、維持管理が困難となったため、萩市が寄附を受け、一旦建築部材を解体し市内倉庫に格納した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		将来的には、当初建立地である堀内上級武家地旧福原家萩屋敷の発掘調査を行い、当初位置を確認したうえで再建を検討しており、古材について、番付を付し、元位置の記録を取りながら解体を行った。	

状況を示す写真や資料等

史跡萩城跡 旧福原家書院解体格納工事



解体前(南西から)



解体状況1(南西から)



解体後(南西から)



解体状況2(南西から)

評価軸③-19 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財保護修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	良好な町並みの景観の保全と歴史的建造物等の適正な維持管理が促進され、祭礼等城下の町内(まちうち)における歴史的風致の維持及び向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財の修理等については、定期的に各文化財を巡視するとともに、文化財保護指導員や観光ガイドと協力し情報収集に努め、維持補修等を適切に実施しつつ、優先順位を付け計画的に修理事業に取り組んでいる。 令和4年度は、9件の保護修理を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		維持管理を行っている文化財施設が多数にわたり、保護修理に必要な予算の確保が十分ではないため、定期的な巡視を行うことにより、初期段階での補修に努めている。また、優先順位を決め、計画的に修繕事業を進めている。	
状況を示す写真や資料等			
瀧口家住宅生垣補修		瀧口家住宅竹枝折戸補修	
施工前		施工前	
			
↓		↓	
施工後		施工後	
			

評価軸③-20 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
弘法寺堀内線他無電柱化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	世界文化遺産の構成資産、「萩城下町」の要素のひとつである、「御成道」等について、道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から、無電柱化を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度に無電柱化の概略検討業務を実施し、既設の地下埋設物や道路、建物等の状況を確認し、技術的に無電柱化が可能かどうかの検討を行い、概略の計画を作成した。また、各電線管理者との協議を行い、自治体管路方式での整備について合意の形成を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		自治体管路方式で整備予定であるが、補助メニューを模索中である。また国指定史跡のエリアであり、令和3年度に、史跡の有無や地下埋設物の正確な位置を確認するため試掘を実施した結果、遺構が確認されたため、文化庁へ報告し、事業を進めるにあたって文化庁との協議を継続中である。	
状況を示す写真や資料等			
<p><b>事業イメージ</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p><b>現状</b></p>  </div> <div style="font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <div style="text-align: center;"> <p><b>無電柱化後</b></p>  </div> </div>			



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
		項目	現在の状況
①文化財の普及・啓発			<input type="checkbox"/> 実施済
②文化財の防災・防犯			<input checked="" type="checkbox"/> 実施中
			<input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	<p>萩市は、文化財を大切に保存・活用し、萩にしかない宝物を次世代に確実に伝えることを宣言した萩まちじゅう博物館条例を平成16年に制定した。「文化財保護強調週間」には、文化財に親しんでもらうことを目的とした文化財の公開や史跡めぐりなどの行事を実施しており、「文化財防火デー」には、消防署、文化財所有者等の協力を得て防火訓練などの文化財防火運動を展開している。また、このような行事のほかに保存修理工事の際は、できる限り現場見学会や住民参加型のイベントを実施し、さらには広報紙等を活用して文化財情報を市民に発信するなど文化財の保存及び活用の普及・啓発を図っている。市所有の文化財施設の大部分については、機械警備を設置し防犯に努めている。</p> <p style="text-align: center;"><b>定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で</b></p> <p>平成27年7月に萩反射炉をはじめとする萩市の5資産を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録された。様々な事業で広く普及・啓発を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、十分な事業展開を行うことができなかった。しかし、市内の方を対象としたイベント等を工夫を重ねながら行った。その他の文化財については、文化財保護指導員や地域住民と協力し、セミナーや見学会等の機会を捉えて各地域の文化財の普及・啓発に努めている。さらに、未指定文化財の調査などを進めるとともに、まちじゅうに広がる文化遺産の調査・記録・認定の事業を継続し、萩全域での文化遺産の再発見と保全に努めている。</p> <p><b>【令和4年度主要事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の普及・啓発</li> <li>(1)世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」に係る普及・啓発             <ul style="list-style-type: none"> <li>世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」に係る萩の産業遺産群を対象とした絵画募集を実施した。(応募総数 中学生52点 小学生30点)</li> <li>世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」に係る現地を巡るスタンプラリー及びSNS投稿キャンペーンを開催した。(令和4年10月～11月)</li> <li>世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」について学び、次世代のガイドを育成するため萩観光ガイド養成セミナーを実施した。(令和5年2月25日)</li> </ul> </li> <li>(2)伝統的建造物群保存地区に係る普及・啓発</li> <li>・文化財の維持管理             <ul style="list-style-type: none"> <li>伝統的建造物群保存地区(堀内地区、平安古地区、浜崎、佐々並市)の町内会や保存団体等により、地区内の清掃を年間を通じて実施した。</li> <li>・文化財エリアの活用                     <ul style="list-style-type: none"> <li>浜崎伝健地区内の旧山村家住宅及び旧山中家住宅を管理・運営する地元団体浜崎しつちよる会主催のHAGI・浜崎朝市を実施した。(令和4年12月4日)</li> </ul> </li> <li>・文化財の防災                     <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)文化財の防火訓練                             <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財防火デーに合わせ、東光寺において消防署、地元消防団、文化財所有者、地域住民の参加により防火訓練を行った。(令和5年1月21日)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>		
		<b>実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)</b>	
■計画どおり進捗している	□計画どおり進捗していない	<p>世界文化遺産登録後、来訪者が増加したことに伴い、保護の観点から定期的なモニタリング等に基づく各構成資産の適切な管理と保存が必要である。</p>	
<b>状況を示す写真や資料等</b>			
 <p style="text-align: center;">文化財の普及・啓発 【世界文化遺産の構成資産】絵画展</p>		 <p style="text-align: center;">文化財エリアの活用 【浜崎伝健地区周辺】HAGI・浜崎朝市 令和4年12月4日(日) (1,500人)</p>	
 <p style="text-align: center;">文化財の普及・啓発 【世界文化遺産の構成資産】 萩の世界遺産周遊スタンプラリー&amp;SNS投稿キャンペーン2022 令和4年10月1日～11月30日(延べ参加者数256名)</p>		 <p style="text-align: center;">文化財の防災 防火訓練 令和5年1月21日(土) (46人)</p>	

※()は集客数

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
----	--------	-------

①文化財施設等の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------	--	---

市内全域には国指定文化財、県指定文化財及び市指定文化財として名勝及び天然記念物を除く総数が167件にのぼり、そのほとんどは歴史観光を基軸とする萩観光の資源であることから、標識や解説板などを整備し、市民をはじめ観光客に一般公開している。特に、内部を公開している文化財については、関連する史料の展示や年中無休のボランティアガイドによる案内、解説を行うとともに、四季を通して催し物を開催している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の活用については、NPO萩観光ガイド協会や各まちづくり団体、実行委員会等と連携し、史跡や文化財建造物・歴史的風致形成建造物の一般公開を進めている。令和4年度は、コロナウイルスの影響により、行事・イベントは規模を縮小して行われるものも見受けられたが、感染防止対策を実施しながら、一般公開や利活用を実施した。

主な事業等

【令和4年度】

萩城跡等ライトアップ、着物ウィークin萩、萩・竹灯路物語、萩城下の古き雑たち、萩・椿まつりなど

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

コロナウイルス感染拡大防止策を行い、安全に楽しめるイベントの構築

令和4年度 文化財施設等活用イベント



文化財施設ライトアップ  
【萩城跡(史跡)】  
通年:日没~22:00  
萩城跡、萩駅舎等のライトアップイベント



着物ウィーク  
【萩城城下町(史跡)ほか】  
令和4年10月1日(土)~10日(月・祝)  
和の装いで、江戸時代の趣を残す萩の町並みを楽しんでいただくイベント  
(3,277人)



萩・竹灯路物語  
【萩城城下町(史跡)ほか】  
令和4年10月8日(土)~10日(月・祝)  
竹灯籠の灯りで、城下町を照らし夜の町並みの魅力をPRするイベント (4,500人)



萩城下の古き雑たち  
【菊屋家住宅(重要文化財)、口羽家住宅(重要文化財)ほか13施設】  
令和5年2月3日(金)~4月3日(月)  
萩市民が大切にしてきた雑人形を市内の文化財施設に飾りまち歩きを楽しんでいただくイベント  
(34,790人)



萩・椿まつり  
【笠山虎ヶ崎椿群生林(天然記念物)】  
令和5年2月11日(土・祝)~3月19日(日)  
椿の花の季節に、日本でも屈指の椿群生林を楽しんでいただくイベント  
(25,998人)



文化財施設を活用した朗唱教室等  
【萩・明倫学舎】  
国登録有形文化財(萩・明倫学舎【本館】)を活用した朗唱教室等を定期的開催

※( )は集客数

## 評価軸⑤

## 効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	令和4年度
	年月日	掲載紙等
<b>【計画等に関連する記事】</b>		
阿武の松原再生を 萩、住民らが苗木植樹	R4.4.2	山口新聞
子供の成長願い藍場川で流し雛	R4.4.5	毎日新聞
萩むつみ地区で「菜の花まつり」	R4.4.10	毎日新聞
幕末の長州 英仏の新聞に	R4.4.13	読売新聞
「蒸気船まんじゅう」復活	R4.4.13	毎日新聞
萩・むつみに菜の花じゅうたん	R4.4.14	山口新聞
笠山椿群生林 こも巻き	R4.4.15	山口新聞
萩城下着物姿で風を切る	R4.4.24	読売新聞
来月1～5日、萩焼まつり今年も実店舗とオンライン	R4.4.27	山口新聞
シロウオ産卵3カ所で確認	R4.4.29	山口新聞
お気に入り食卓に 萩焼まつれ開幕 40カ所で販売	R4.5.2	山口新聞
萩焼まつり2万点並ぶ40カ所で5日まで	R4.5.3	読売新聞
山口・萩「むつみフラワーロード」「咲かせ隊」整備心も満開	R4.5.4	毎日新聞
奇兵隊城下町練り歩く 萩3年ぶり 観光客ら魅了	R4.5.6	読売新聞
夏みかん甘い香り萩で開花宣言	R4.5.7	読売新聞
夏ミカンの花香る萩城下町	R4.5.12	毎日新聞
甘い香り包まれ祭り 萩、夏ミカン収穫体験など	R4.5.15	山口新聞
萩の蒸気船まんじゅう「再出発」	R4.5.31	朝日新聞
萩藩・益田家歴史知る動画「須佐の街歩いてみて」	R4.6.4	読売新聞
「おしくらごう」熱戦 萩・伝統の和船競漕	R4.6.6	読売新聞
萩ものがたり最新刊二冊出版 藩政期と現在の町並みの変遷／大村益次郎の生涯	R4.6.19	山口新聞
子ども第三の居場所 萩・明倫学舎にオープン	R4.6.21	毎日新聞
瀬つきあじ来月フェア	R4.6.24	山口新聞
萩焼宗家14世 先代長男が襲名	R4.6.25	朝日新聞
萩の瀬つきあじ 道の駅でフェア	R4.7.2	毎日新聞
萩の自然児童が体感「ぶち海体験隊Ⅲ」	R4.7.4	読売新聞
萩の瀬つきあじ限定の味どうぞ「萩の瀬つきあじフェア」	R4.7.10	朝日新聞
萩・明倫学舎入館5年で100万人超	R4.7.28	読売新聞
萩焼工夫し丁寧に子どもたちが制作体験	R4.7.29	山口新聞
萩「椿群生林」再生の芽	R4.7.31	読売新聞
萩焼体験教室子供ら楽しむ	R4.8.1	毎日新聞
カブトムシ間近で観察萩の昆虫王国開国	R4.8.3	読売新聞
むつみ地区であすひまわりフェスタ	R4.8.6	毎日新聞
きょう「むつみひまわりロードフェスタ」	R4.8.7	山口新聞
万灯会、幻想の大照院 萩、きょう東光寺で送り火	R4.8.15	山口新聞
益田家忠誠誓った花火 萩で企画展 藩主もてなし史料10点	R4.8.25	読売新聞
明倫学舎3号館開館 萩観光PR拠点に	R4.9.4	朝日新聞
観光団体の連携強化へ 萩・明倫学舎3号館が開館	R4.9.6	山口新聞
珍しい貝2000種萩で標本展示	R4.9.8	読売新聞
萩・明倫学舎3号館が開館 全4棟の運用スタート	R4.9.9	毎日新聞
萩市民アート展186作品が一堂に 明倫学舎3号館	R4.9.14	読売新聞
萩城跡指月公園市民ら清掃活動	R4.9.19	山口新聞
着物姿で町歩きを 萩で「ウィーク」開幕	R4.10.2	山口新聞
松下村塾の50年 萩で特別展	R4.10.3	朝日新聞
お気に入り見つけ暮らしを楽しんで 8日から萩・田町萩焼まつり	R4.10.6	山口新聞
竹灯笼が1800本 萩・竹灯路物語	R4.10.7	山口新聞
藤田伝三郎誕生地 萩市が公園整備	R4.10.8	山口新聞
3年ぶり萩・田町萩焼まつり	R4.10.10	山口新聞
城下町彩る「竹灯路物語」	R4.10.13	毎日新聞
萩ジオパーク再認定へ現地調査始まる	R4.10.14	山口新聞
「鉄道の父」井上勝の出身地萩で開業150年イベント	R4.10.15	山口新聞
歴史紡いだ私塾絶えぬ魅力 松下村塾国史跡指定100年	R4.10.18	朝日新聞
萩の着物フォトコン天野さん(宇部)グランプリ	R4.10.26	山口新聞
松陰神社特別な御朱印 萩、今日から3日間限定	R4.10.27	山口新聞
椿サミット萩で来年3月	R4.11.2	読売新聞
竹灯笼、幻想の城下町	R4.11.4	山口新聞

<p>色づく長門峡 城下町萩彩る「時代まつり」あす3年ぶり きょう萩市民館 伝統芸能フェス 神楽舞など10団体 古地図でみる江戸時代の萩の姿 萩博物館で特別展 陶芸若き継承者 重責新技法に挑む 萩の海や地形本紙で学ぶ 明倫小児童ら特別号使い授業 「文化資産保存に感銘」台湾立法院長が萩訪問 松陰神社に大絵馬 中学生描く キラキラ師走の輝き 萩駅周辺 楽しい光の空間 萩・明倫学舎でクリスマス シーボルトのピアノ公演 来年200年の節目 あす萩で響く音色 維新の里駆け抜ける 萩城下町マラソン県内外から1433人参加 色鮮やかツバキ開花 萩 「萩ジオパーク」再認定 日本の委員会4年ごとの審査で 江戸時代中期の門松 萩・菊屋住宅にお目見え わがまちの文化財デジタルで未来へ 絵画のような押し花絵 様々な草木重ね描いた風景 笠山「落ち椿」 早春の萩往還歩こう3月11日、佐々並・明木の2コース 萩の産業革命遺産描く 小中学生絵画コンクール82点展示 手作りしたこの展示会 萩・渡辺蒿蔵旧宅、31日まで 豊漁願いシロウオ産卵場づくり開始 江戸時代ー現代ひな人形が1200体 萩で3日から展示会 伝統の豆腐おいしい 萩・佐々並児童作り方学ぶ 萩観光にぎわい期待 シーズン開き 「萩城下の古き雛」15か所に1200体展示 スタンプラリーも 作って受け継ぐ伝統の「土地の味」200年続く「ささなみ豆腐」 明治時代の人形や「ほうこさん」も「萩城下の古き雛たち」 萩・椿まつり開幕 松陰先生に誓う将来の夢や志 萩・椿東小6年、松下村塾で 「萩・椿まつり」が開幕 来月19日まで多彩な催し 萩の歴史、文化、自然など学ぼう 来月19、26日に講座 花や木を再現 アート盆栽30点 萩の渡辺蒿蔵旧宅 松陰の言葉胸に夢誓う 松下村塾で萩・椿東小の児童 雛人形華やかに 萩・城下町 萩・明倫学舎で楽しみいっぱい4、5、11日に文化祭 ひな人形が語る萩城下町の歴史 旧家などに1200体 シロウオの春危うし原因不明の不漁続く萩 恒例のまつり中止 春色のトンネル萩で河津桜見頃 手作り萩人形展「花と遊ぶ」150体 シロウオ躍り食い萩しーまーとで提供開始 華やかな萩人形の世界 伊藤博文別邸で作品展 全国椿サミット萩大会開幕 笠山の群生林再生事業を報告 萩で6月に和船大競漕 参加チーム募集 益次郎の後半生や渋沢栄一 萩ものがたり新たに2冊出版</p>	<p>R4.11.8 R4.11.12 R4.11.13 R4.11.19 R4.11.26 R4.11.30 R4.12.1 R4.12.2 R4.12.5 R4.12.7 R4.12.10 R4.12.15 R4.12.16 R4.12.17 R5.1.4 R5.1.7 R5.1.11 R5.1.15 R5.1.17 R5.1.19 R5.1.24 R5.1.27 R5.1.29 R5.2.6 R5.2.7 R5.2.8 R5.2.9 R5.2.11 R5.2.12 R5.2.17 R5.2.17 R5.2.20 R5.2.24 R5.2.24 R5.2.24 R5.3.4 R5.3.6 R5.3.7 R5.3.9 R5.3.12 R5.3.14 R5.3.16 R5.3.19 R5.3.26 R5.3.29</p>	<p>読売新聞 西日本新聞 山口新聞 朝日新聞 読売新聞 読売新聞 山口新聞 読売新聞 山口新聞 山口新聞 山口新聞 読売新聞 山口新聞 山口新聞 山口新聞 毎日新聞 山口新聞 中国新聞 読売新聞 山口新聞 山口新聞 山口新聞 読売新聞 山口新聞 山口新聞 山口新聞 毎日新聞 朝日新聞 山口新聞 山口新聞 山口新聞 西日本新聞 山口新聞 山口新聞 読売新聞 読売新聞 山口新聞 朝日新聞 山口新聞 読売新聞 朝日新聞 山口新聞 読売新聞 山口新聞 山口新聞</p>
<p>進捗状況 ※計画年次との対応</p> <p><input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし</p>	<p>実施にあたっての課題(自由記述)</p> <p>各事業の報道を行ってもらうために、各メディアに対する細かな情報提供や萩らしい特色ある事業の実施が重要である。</p>	

評価軸⑥ その他(効果等)		評価対象年度	令和4年度																								
項目																											
<b>萩市歴史的風致維持向上計画(全体)</b>																											
計画に記載している内容	<p>萩市は、平成21年1月19日に第1期計画となる「萩市歴史的風致維持向上計画」の認定を受け、歴史的風致の維持向上を図るため、歴史的建造物等の保存・修理を計画的に行ってきた。</p> <p>歴史的に重要な文化財が数多く残存する萩市において、この豊かな萩市固有の歴史的風致を次世代に伝え、引き継いでいくため「歴史まちづくり法」第5条第1項に基づき、「萩市歴史的風致維持向上計画(第2期)」を策定した。</p>																										
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付																											
<p>萩市歴史的風致維持向上計画に基づき、一元化した実施体制を構築するとともに市民団体と協働により計画を推進している。</p> <p>具体的には、歴史的風致の維持及び向上に資する各事業を進めたことにより、例年各イベント参加者数などが高水準を維持しており、観光振興並びに地域経済の活性化への効果があった。</p> <p>令和4年度は、コロナウイルスの影響のため、主要イベントは、感染対策を行いながら、3年ぶりに規模を縮小して開催された。また、観光施設の公開も引き続き行った。</p>																											
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																										
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	コロナ対策のため、安心・安全な観光地づくりが課題となっている。感染対策を引き続き実施していくとともに、古民家等の活用を積極的に推進し、歴史的風致の維持・向上を図っていく。																										
状況を示す写真や資料等																											
計画事業(イベント)参加者数の推移 <table border="1"> <caption>計画事業(イベント)参加者数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>萩時代まつり</th> <th>萩夏まつり</th> <th>萩の和船大競漕「おしくらごう」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>57,000</td> <td>124,000</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>56,000</td> <td>108,000</td> <td>14,000</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>42,500</td> <td>14,100</td> <td>7,500</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>2,500</td> <td>1,000</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>17,226</td> <td>4,700</td> <td>204</td> </tr> </tbody> </table>				年度	萩時代まつり	萩夏まつり	萩の和船大競漕「おしくらごう」	H30	57,000	124,000	15,000	R元	56,000	108,000	14,000	R2	42,500	14,100	7,500	R3	2,500	1,000	10,000	R4	17,226	4,700	204
年度	萩時代まつり	萩夏まつり	萩の和船大競漕「おしくらごう」																								
H30	57,000	124,000	15,000																								
R元	56,000	108,000	14,000																								
R2	42,500	14,100	7,500																								
R3	2,500	1,000	10,000																								
R4	17,226	4,700	204																								

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和4年度
評価軸③-20	
コメントが出された会議等の名称: 萩市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和5年3月24日	
(コメントの概要)	
<p>協議会議事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 萩市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について</li> <li>(2) 萩市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について</li> </ul> <p>コメント等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業の国庫補助メニューについて</li> <li>・文化財の指定・調査について</li> <li>・文化財の防災・防火訓練の取組について</li> <li>・ワンコイントラスト(百円信託)運動の金額について</li> <li>・弘法寺堀内線他無電柱化事業の現状について</li> <li>・未指定文化財の一部損壊による景観への影響について</li> </ul>	